

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第57期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社銀座ルノール
【英訳名】	GINZA RENOIR CO.,LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小宮山 誠
【本店の所在の場所】	東京都中野区中央4丁目60番3号
【電話番号】	03（5342）0881（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 遠藤 芳子
【最寄りの連絡場所】	東京都中野区中央4丁目60番3号
【電話番号】	03（5342）0881（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 遠藤 芳子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第2四半期連結 累計期間	第57期 第2四半期連結 累計期間	第56期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 9月30日	自2019年 4月1日 至2019年 9月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (百万円)	3,954	4,167	7,968
経常利益 (百万円)	238	442	505
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	132	316	122
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	138	324	121
純資産額 (百万円)	5,769	5,988	5,753
総資産額 (百万円)	6,716	7,058	6,738
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	21.68	51.92	20.00
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	21.65	51.86	19.97
自己資本比率 (%)	85.3	84.2	84.7
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	186	310	549
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	191	174	544
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	109	89	130
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	2,012	2,046	2,001

回次	第56期 第2四半期連結 会計期間	第57期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年 7月1日 至2018年 9月30日	自2019年 7月1日 至2019年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.51	28.13

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1)財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や各種政策等による雇用環境の改善に支えられ、国内消費は緩やかに回復の傾向にあるものの、10月の消費税増税後の国内消費の落ち込みへの懸念から景気に足踏み感がみられます。また、米中貿易摩擦の長期化により日本経済を取り巻く環境は厳しさを増しています。

当社グループが属する喫茶業界におきましては、労働需給の変化による人材採用難に伴う人件費の上昇に加え、出店立地の選択において、賃料の高騰や競合各社による競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは2019年7月カフェ・ルノアール吉祥寺北口店を新規オープンし、2019年8月横浜元町店をカフェ・ルノアール横浜元町店として業態変更オープンいたしました。また、2020年4月に施行される受動喫煙防止法に対応する為、分煙されていなかった店舗の内21店舗の改装を行い完全分煙といたしました。

今後も、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

また、店舗数につきましては、120店舗（内2店舗はFC）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,167百万円（前年同期比212百万円増）、営業利益は427百万円（前年同期比208百万円増）、経常利益は442百万円（前年同期比204百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は316百万円（前年同期比184百万円増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、7,058百万円となり前連結会計年度末に比べ319百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が161百万円、流動資産のその他が76百万円、現金及び預金が45百万円増加したことによるものであります。

負債は、1,069百万円となり前連結会計年度末に比べ83百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が117百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は5,988百万円となり前連結会計年度末に比べ235百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が231百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は84.2%（前連結会計年度末は84.7%）となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,046百万円となり前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は310百万円（前年同期比123百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が514百万円計上されたものの、その他の流動負債の減少が63百万円、法人税等の支払額が77百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は174百万円（前年同期比16百万円減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が153百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は89百万円（前年同期比20百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額が85百万円あったことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,252,004	6,252,004	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,252,004	6,252,004	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2019年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日 ~ 2019年9月30日	-	6,252,004	-	771,682	-	1,062,078

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
有限会社オーギュスト	東京都港区西新橋2-34-4	1,331	21.80
株式会社花見煎餅	東京都国分寺市高木町1-10-51	1,168	19.13
キーコーヒー株式会社	東京都港区西新橋2-34-4	754	12.35
塩井 賢一	東京都新宿区	500	8.19
小宮山 誠	東京都小平市	166	2.73
小宮山 文美	埼玉県所沢市	140	2.29
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	113	1.85
猪狩 安往	東京都江戸川区	81	1.32
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6	40	0.65
小宮山 栄治郎	東京都港区	37	0.62
計	-	4,332	70.96

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 147,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,103,700	61,037	-
単元未満株式	普通株式 804	-	-
発行済株式総数	6,252,004	-	-
総株主の議決権	-	61,037	-

(注) 「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式26株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(株)銀座ルノアール	東京都中野区中央 4丁目60番3号	147,500	-	147,500	2.4
計	-	147,500	-	147,500	2.4

(注) 当第2四半期会計期間末の自己株式数は、147,526株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,045,394	2,090,680
売掛金	95,975	100,145
商品	23,420	23,083
その他	184,233	260,970
流動資産合計	2,349,023	2,474,879
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,623,736	3,802,293
減価償却累計額	2,616,259	2,638,236
建物(純額)	1,007,477	1,164,056
工具、器具及び備品	352,846	364,253
減価償却累計額	302,060	307,329
工具、器具及び備品(純額)	50,785	56,924
土地	518,173	518,173
リース資産	9,000	9,000
減価償却累計額	7,950	8,850
リース資産(純額)	1,050	150
その他	2,454	2,454
減価償却累計額	2,454	2,454
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	1,577,486	1,739,304
無形固定資産		
ソフトウェア	7,884	6,008
無形固定資産合計	7,884	6,008
投資その他の資産		
投資有価証券	358,118	364,205
長期貸付金	68,666	66,532
敷金及び保証金	1,859,517	1,876,718
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	262,282	259,721
その他	155,787	170,794
投資その他の資産合計	2,804,372	2,837,972
固定資産合計	4,389,743	4,583,284
資産合計	6,738,766	7,058,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,955	88,308
短期借入金	80,000	80,000
リース債務	1,225	176
未払法人税等	111,372	228,444
賞与引当金	87,970	58,740
株主優待引当金	18,821	7,714
その他	332,119	335,914
流動負債合計	725,463	799,298
固定負債		
役員退職慰労引当金	73,953	81,608
退職給付に係る負債	151,521	153,875
その他	34,821	34,821
固定負債合計	260,296	270,305
負債合計	985,760	1,069,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,682	771,682
資本剰余金	1,063,097	1,063,097
利益剰余金	3,973,182	4,204,642
自己株式	114,191	114,191
株主資本合計	5,693,769	5,925,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,570	19,641
その他の包括利益累計額合計	14,570	19,641
新株予約権	4,160	4,160
非支配株主持分	40,506	39,528
純資産合計	5,753,006	5,988,560
負債純資産合計	6,738,766	7,058,164

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,954,472	4,167,270
売上原価	473,643	472,127
売上総利益	3,480,829	3,695,143
販売費及び一般管理費	3,262,640	3,268,023
営業利益	218,189	427,119
営業外収益		
受取利息	882	2,372
受取配当金	1,081	1,201
受取家賃	14,663	14,570
受取保険料	5,399	497
その他	3,469	2,558
営業外収益合計	25,496	21,200
営業外費用		
支払利息	274	237
不動産賃貸費用	2,126	2,033
撤去費用	149	266
その他	2,540	2,999
営業外費用合計	5,090	5,537
経常利益	238,595	442,783
特別利益		
受取補償金	-	73,878
特別利益合計	-	73,878
特別損失		
固定資産廃棄損	6,469	2,552
特別損失合計	6,469	2,552
税金等調整前四半期純利益	232,126	514,108
法人税等	96,454	194,563
四半期純利益	135,671	319,545
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,397	2,622
親会社株主に帰属する四半期純利益	132,274	316,923

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	135,671	319,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,897	5,071
その他の包括利益合計	2,897	5,071
四半期包括利益	138,569	324,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,172	321,994
非支配株主に係る四半期包括利益	3,397	2,622

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	232,126	514,108
減価償却費	106,471	76,685
株式報酬費用	813	-
長期前払費用償却額	14,072	11,899
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12,817	7,655
賞与引当金の増減額(は減少)	20,610	29,230
株主優待引当金の増減額(は減少)	10,110	11,106
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	221	2,354
受取利息及び受取配当金	1,963	3,574
支払利息	274	237
固定資産廃棄損	6,469	2,552
受取補償金	-	73,878
売上債権の増減額(は増加)	38,598	4,169
たな卸資産の増減額(は増加)	3,590	337
仕入債務の増減額(は減少)	16,842	5,646
未払消費税等の増減額(は減少)	6,906	17,882
その他の流動資産の増減額(は増加)	2,272	2,859
その他の流動負債の増減額(は減少)	60,405	63,315
その他	10,119	20,764
小計	201,749	383,404
利息及び配当金の受取額	1,453	4,579
利息の支払額	273	237
補償金の受取額	110,217	-
法人税等の支払額	126,480	77,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,667	310,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	26,722	26,723
定期預金の払戻による収入	26,721	26,722
長期預金の預入による支出	100,000	-
長期預金の払戻による収入	100,000	-
長期貸付金の回収による収入	2,675	2,675
有形固定資産の取得による支出	178,825	153,521
敷金及び保証金の差入による支出	19,913	14,421
敷金及び保証金の回収による収入	16,515	-
その他	12,093	9,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	191,643	174,888
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	5,184	-
リース債務の返済による支出	24,770	1,048
配当金の支払額	85,131	85,215
非支配株主への配当金の支払額	5,160	3,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	109,877	89,864
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	114,854	45,285
現金及び現金同等物の期首残高	2,127,689	2,001,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,012,835	2,046,690

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給料手当	1,219,838千円	1,265,307千円
賃借料	1,000,210	1,010,970
賞与引当金繰入額	64,100	58,740
退職給付費用	15,891	6,693
役員退職慰労引当金繰入額	7,702	7,655

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	2,056,822千円	2,090,680千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	43,987	43,990
現金及び現金同等物	2,012,835	2,046,690

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	85,378	14	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	85,462	14	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

当社グループは、喫茶等事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	21円68銭	51円92銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	132,274	316,923
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	132,274	316,923
普通株式の期中平均株式数(株)	6,100,248	6,104,478
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	21円65銭	51円86銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	10,441	6,892
(うち新株予約権(株))	(10,441)	(6,892)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

株式会社銀座ルノアール

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 戸田 仁志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大屋 浩孝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座ルノアールの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座ルノアール及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。